

これは必要かと思っております。

かすまきや蜂蜜じゃどうにもならん状況です。少し甘くなるように蜂蜜も提示しましたけれども、私たちが来ること自体は何も異論も反論もないみたいですけど、やはり何回も言いますように、端々の中に市や県の行政、こちらも是が非でも通していただきたいと、それ重々承知しております。

いずれにしても、毎年アクションをとにかく起こすこと、これが最重要課題でございますので、何回も言いますが、少ない職員の中でいろんな事業を抱えているのは重々承知しておりますけれども、市民生活の中で何が今、課題なのか、今後どうすべきかということは当然、流れの中でいろんな会の中でも話が上がっておると思いますけれども、是が非でもそのあたりを重点項目として、次年度以降、取り組んでいただきたいと思っております。

私たちが空振りになりますけれども、何回でもいかんと、なかなか国の皆さんも良い答えが返ってきませんので、そういった流れで我々ができることであれば一緒になって今後、進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

関連質問が残っておりますので、私はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） 関連質問に入ります。新政会、10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 皆さんおはようございます。今回は、新政会の会派代表質問、私は先ほど伊原議員のほうから代表質問がありまして、関連質問をさせていただきます。

10分くらいの時間をもらっていたんですが、少し余っているようにありますので、紹介をしながら質問に入っていきたいというふうに思っております。

皆さん御存じのように、改正離島振興法が成立をいたしました。その中身を少し抜粋しながら御紹介をさせていただきます。

関係人口のような島外人材の活用や多様な再生可能エネルギー導入などを柱に、与野党が議員立法で提出した改正離島振興法が11月18日に参議院本会議で全会一致で可決をしております。

本年度末に期限が切れる現行法を2032年度末まで10年延長し、公共事業の補助率かさ上げ特例や国による活性化交付金の配分を継続する、また島外の児童生徒を受け入れる離島留学を配慮規定に明記、寄宿舎の環境整備などで支援拡充が見込まれる予定である。

都道府県による離島市町村への支援の努力義務も新設、高齢化が進む小規模離島については、日常生活に必要な環境維持が図られるよう配慮する規定も新たに新設をされております。

交通関係では、高速安定航行が可能な船舶などに対する設備投資を配慮規定に明記、離島航路で老朽化するジェットフォイルの整備や更新などが支援の対象になる見通しだということです。また、ドローンの活用も盛り込んでおるといふことでもあります。

次に、風力など豊富な離島の再生可能エネルギーを生かすため、再生可能エネルギーの利用促

進施策の充実も新たに配慮規定に明記、高度情報通信ネットワーク充実を特別の配慮に格上げをしたと。また、医師の確保や遠距離医療システムによって医療体制を充実させるほか、オンライン事業やテレワークを念頭に、通信インフラの維持管理に配慮することも掲げた。また、審議の過程では、ガソリン税の減免などを巡り与野党の調整が難航したが、付帯決議でガソリン価格の引下げに向けた支援強化を求めることで折り合ったというようなことでございます。

これも、自民党離島振興特別委員長の谷川弥一衆議院議員、長崎3区は離島の人口減を何とか食い止めるため、改正法をうまく活用してほしい。また一方で、地元自治体も、例えばIT人材のUIターン促進に努力するなど、非常に離島全体で汗を流してほしいということも言われております。

また、これに大石賢吾知事は談話を発表されております。

離島振興法の成立について、「本県が要望を提案した数多くの項目は法に盛り込まれた。法の趣旨を踏まえ、実効性のある離島振興計画を速やかに策定し、関係市町と一体となり離島振興に努めたい」という談話を出されております。

先ほど、代表質問で市長が答弁をされました。県と一緒にやっていかなければいけないんだというようなことでしたので、このことについて少し紹介をさせていただきました。

それでは、関連質問に入ります。

私のほうからは、除却処分後の公営住宅及び教育施設の対策ということで質問をさせていただきます。

国境離島である本市の保全、防衛と観光の領地と考えると、地域によっては使用不能な多くの公共施設の無残な姿が見受けられます。万が一、朝鮮半島での有事での武装難民の流入によって、廃校舎や公営住宅への無断侵入も考えられるんじゃないか。また、観光バスやレンタカーなどの車窓から見える公共施設の無残な実態やはり、見づらいところもあるんじゃないか。早急な対策を練られて、このことについて少しでも先に進むようにやってほしいというお願いで質問しております。

市長のほうから答弁がありましたら、お願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 春田議員の質問にお答えいたします。

国境離島であります本市の防衛及び観光の面から、老朽化した公営住宅や教育施設の解体を進めてはどうかとの御質問でございますけれども、議員がおっしゃられるとおり、市内には学校の統廃合により廃校となった校舎や体育館、築年数が古く老朽化が著しいために入居を受け付けていない市営住宅や教職員住宅が相当数あるところでございます。

校舎や体育館につきましては、廃校利活用の取組から利用希望者の公募を行っている施設もご

ざいます。また、教職員住宅のうち、利用できる住宅は民間への貸出しを行うなど有効活用を図っておりますが、廃校舎及び貸出しができない状態にある教職員住宅、市営住宅については利用されていない現状であります。

このようなことから、築年数や老朽化の具合を考慮しつつ、廃校舎、教職員住宅につきましては、市における解体の優先状況を判断しながら、また市営住宅につきましては、公営住宅長寿命化計画等に基づきまして、計画的に解体工事を実施しているところでございます。

今後の予定といたしましては、まずは利用の可能性を検討した上で、利用可能な施設は有効活用し、利用が難しい施設につきましては危険性が高い施設から優先的に解体をしていく考えであります。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 先ほど代表質問の中で答弁をされました国民保護法、これは先ほどの市長の答弁でもあったように、各自治体でそれなりの住民の皆さんの保護をするための考えは異なると思いますが、対馬市でもそういうことが組み立てられておるということで、平成29年度にその計画が出されたということであります。

それから年月も経っております。今後、有事の関係、ウクライナ問題についても非常に対馬も怖いところにあるなど、そういうところでもありますので、そこら辺も部署内できちんとした計画を練っていただいて、国民また市民が守られるように努力をしていただきたいというふうに思います。

先ほど、市長の答弁にありました住宅の問題、統廃合で進む校舎あるいは教員住宅の空き家、この辺は非常に大きな課題になっているんですが、これも本来なら人口減少が止まっていくならば、何かの形で利用はできるんでしょうけど、この人口減少が対馬においては非常に大きな問題になっております。これが止まらない限りは、どんどん空き家あるいは廃校舎が出てくるわけですから、ここら辺のきちんとした計画を練っていただいて、これを解体ということになれば、大きな予算がかかるわけですので、そこら辺を何とか食い止められるような、修繕で使われるものは扱っていく、先ほど市長、答弁いただきましたが、そういうようなところできちんとしたものにしていく、あるいはもう完全に使われない、この道路際ではない山際に立っているような建物については、進入禁止防護柵を立てるとか、そういうような考えを持って取り組んでいただきたい。

これは、先ほど質問で言いましたように、有事の際に武装団が侵入する、そしてそこでとどまるということになれば、これは国民保護法もちょっと難しい問題になってきますので、そこら辺がないように、対馬ではそういうことはないというふうに思いますが、これはどういうふうにな

るか分かりません。

ウクライナの問題を見ても対馬はないというふうに思いますが、ないとは限らないというふうに思いますので、そこら辺の分を今後もしっかりと計画を立てていただきたい。

社会的背景を含めた公共施設に、全般に関する主要な課題を協議しながら、どこからどういうふうに片付けていくのか、どういうふうに取り組んでいくのか、そしてどのようなところ、残るところはどのようなところか、残るところにはどういう安全策を万全にしていけるのか、そこら辺を市長の考えがあれば、一言お願いをいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、議員が御懸念されております、例えば他の国のそういった部隊等が侵入をしてきたときに、市民に対しての被害等が懸念されるのではないかとというようなことだというふうに思っておりますけれども、このことにつきましては、対馬市だけで動ける問題ではないというようなことで、警察、自衛隊、その他関係省庁と協議を重ねながら、そのようなことが決して起こらないように対処を図っていくことが重要ではないかというふうに考えますので、今後、またそういった機会を設けまして、国民保護法の関係ももちろんございますし、協議等を進めたいと思いますし、毎年1回、防災関係の会議を開催しておりますので、そういった中でも提示できればいいなというふうに私も今、考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 市長の答弁はよく分かります。

これは、大きな問題ですので、すぐに、即ということはできませんが、対馬もトップである市長がそういう考えを持っておられるということですので、安心をしているところですが——タブレットを送ってもらっていいですか——今、流れてきていると思いますが、まあこれはほんの一部でございます。

島内にもこういうような状況で、非常に多く、無残な姿が見受けられるわけですが、少し質問と離れてきますが、これが市営住宅なんです。この前面と少し右横には学校があります。非常にこういう空き家があるということで、私は決算委員会の折にも、この場所は提供しておりませんが、その話を担当部の方にいたしました。

このような無残な姿があちこちに島内で残っているんじゃないかなというふうに——私は調べておりませんが——自分の地元だけ写真に撮って残しているわけですが、やはりそういうところをきちんと調べて、できるものはできる、できないものはできないで、どうしたらできるかという課題をひとつ決めてやっていくようにしてもらいたいなというふうに思います。

ここは今、4棟ありまして、2世帯住まいのところと1世帯住まいのところもあります。もう

建築年月からすれば60年近く経っているんじゃないかなというふうに思っております。非常に、ここに入居されている方もいらっしゃると思います。40年、50年住んだら自分のとこだというような感じで、住まい心地がいいということで、こういうような無残な姿にはなっておりますが、そこに住んでおられる方がいらっしゃいます。

このような方々の環境、周りの環境あるいは住んである方々の環境面にも良くないというふうに思いますので、これを整備するとかそうじゃなくて、今後、やっぱりこういうところがあるなら、その住んである方々に納得をしていただいて、きれいな住宅に入っていただく、そういうのもやっぱり協議をしていくべきじゃなかろうかというふうに思っておりますので、そこら辺をきちんとしたものにしていかないと、住んでいる方は「ここが、私はもう40年住んでいますので、ここが一番いいです」ということはよく分かるんですけど、こんな危険な場所に住んでいただいとおったら、周りは環境が悪いから、ここら辺を今後も課題の一つとして、きちんとしたものにしていただければなというふうに思っておりますので、そこら辺も部署内で協議をされながら、私も決算委員会のときには少しきついことを言いましたけど、やはりそのようなことを取り組んでいかなければ、40年もこういう——40年はなりませんけど、20年ぐらい、もうこの形でずっとありますので——学校も小・中学校周りにありますので、こういう無残な姿を子供たちに見せるわけにはいきませんので、大人として取り組んでいってほしいというふうに思います。

私も、時間は10分しかいただいておりませんでしたので、これで私の関連質問は終わらせていただきます。

非常に、先ほど会派代表質問でもありましたように、対馬市の中でも、県と市と取り組んでいかなければできないことが多くあると思います。県と力を合わせてやっていく、大石知事も談話の中で離島を守るんだという、この発言がされておりますので、そこら辺も含めてまた我々も、微力ではありますが力を貸しながら、行政と一緒に取り組んでまいるところは取り組んでまい、できないところはできない、はっきりしたものをしていきたいというふうに思います。

では、私の質問はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、新政会の会派代表質問は終わりました。

以上で、本日、予定しておりました会派代表質問を終わります。

暫時休憩します。再開を11時20分からいたします。

午前11時06分休憩

午前11時20分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。